



World Vision

この子を救う。未来を救う。



バングラデシュ人民共和国 イスラムプール地域開発プログラムのご紹介 (BGD-213635)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

地域の課題



洪水時の支援地域の様子



保健・栄養改善

- 産前健診を4回受けた母親 **9.6%***
- 中・重度の低体重の子ども **35.6%***



生計向上

- 過去5年間に家が洪水の被害にあった世帯 **90%****
- 貧困・最貧困層世帯が多い



洪水が起きると学校にも通えない状況に陥ります

*2018年時点

**2019年時点

国情報

バングラデシュ人民共和国

南アジアに位置し、インド、ミャンマーと国境を接し、南はインド洋に面しています。日本の4割ほどの国土に約1億5000万人が暮らしています。ベンガル人が人口の98%を占め、イスラム教徒が約90%と多数派です。公用語はベンガル語。教育制度は、就学前教育(1年)、初等教育(5年)、中等教育(7年：3-2-2年)、高等教育(3年～)で、義務教育は初等教育の5年間です。国の中央部をガンジス川が流れ、国土の大部分はデルタ地帯で、サイクロンや洪水などの自然災害の被害を受けやすい国です。



●首都：ダッカ

イスラムプール
地域開発プログラム

地域情報

イスラムプール 地域開発プログラム

支援期間：2020年～2031年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ダッカから北へ約210km、車で約6時間の場所に位置するジャマルプール県イスラムプール郡にてプログラムを実施しています。支援地域には、ガロ族やコーチ族などの少数民族も住んでいます。ブラマプトラ川やジャムナ川といった大きな川の流域に位置するため、雨期には道路や農地が4～6カ月もの間、水没してしまいます。頻発する洪水は住民の仕事や生活に大きな影響を与え、不安定な経済状況により早婚や児童労働、家庭内暴力なども地域社会の問題となっています。

地域の課題



保健・栄養改善

産前産後健診を受ける母親の割合が低く、保健サービスを受けることの大切さや子育てについての知識が不足しています。また、栄養不良や下痢などの病気に苦しむ子どもも多く、食事や衛生習慣についての啓発が必要です。



生計向上

貧困が深刻な問題となっています。多くの住民が小作農や日雇い労働で暮らしていますが、収入は不安定です。洪水が多い地域ですが非常時への備えが不十分のため、災害や失業により家庭の経済状況がさらに困窮してしまうことも少なくありません。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 母親や青年期の子どもへの、子どもの栄養や健康管理に関する研修
- 衛生的習慣やトイレの利用についての啓発
- 地域の医療・保健施設の向上のための研修や機材の提供



洪水時は、水を得るのも困難になり、衛生状態が悪化します



支援地域の保健センター



日雇いの仕事をしている支援地域の女性たち



洪水時の農業の様子

支援はチャイルドの生活を変える力となります



13歳のナルジナちゃんは、両親と3人の兄弟と暮らしています。お父さんは日雇いの仕事をしていますが、十分な収入が得られないため、家族全員が栄養のある食事を1日3食とることができません。

幸い、ナルジナちゃんは中等学校で勉強を続けられています。クラスの友だちには結婚のために学校を辞めさせられた子がいました。また、近所のお店で、学校に通わず働いている子どもたちをよく見ているそうです。ナルジナちゃんは、「地域の子どもたちが、幸せで健康に、そして平和に暮らせるように勉強を頑張りたい」と話してくれました。

ワールド・ビジョンは、ナルジナちゃんのような子どもたちが、希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。

ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。申請後、5営業日以降、情報をご確認いただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN